

いじめ防止対策改善プログラム 参考資料 2020年度版（新旧対照表）

改訂（2020年度版）	現行（2019年度版）	備考
<p>表紙裏</p> <p>いじめ防止対策を子どもが変わる（育つ）ことによって、子ども自らの力で予防することや解決を図ることができるようにするという観点から進めているのは、人格の完成をめざして行われる教育そのものが、いじめの未然防止につながる取組だからです。</p> <p>改善プログラム作成に当たっては、すでに各校で行っている様々な教育活動をいじめ防止対策の観点によって整理し直すことと、それらが適切に行われているかを点検・改善することが重要となります。</p> <p>この資料には、そのための4つの観点と実践目標及び具体的な実践内容を記載しています。</p> <p>P 1 1 未然防止への取組 実践目標 1</p> <p>■すべての児童生徒が参加・活躍できる「わかる授業」づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で、深い学びの実現に向けた協同的探究学習を核とした授業改善 <p>■授業における学習規律の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> チャイム着席、正しい姿勢、発表の仕方や聞き方等の指導の徹底 <p>・教員が互いの授業を見合うことによる学習規律の自主改善</p>	<p>表紙裏</p> <p>いじめ防止対策を子どもが変わる（育つ）ことによって、子ども自らが問題の回避や解決を図るように促すという観点から進めているのは、人格の完成をめざして行われる教育そのものが、いじめの未然防止につながる営々とした日々の取り組みだからです。</p> <p>改善プログラム作成に当たっては、すでに各校で行っている多くの教育活動を明確な目的のもとに整理し直すことと、子どもの内面理解のための積極的な取り組みを推進すること、そして、それらが適切に行われているかを点検・改善することが重要となります。</p> <p>この資料にはそのための具体的な実践内容や参考となる観点が書かれています。</p> <p>P 1 1 未然防止への取組 実践目標 1</p> <p>■すべての児童生徒が参加・活躍できる「わかる授業」の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で、深い学びの観点からの授業改善 全教科における未来を拓く学び（協同的探究学習を核とした学び方）の研究 <p>■授業における学習規律の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> チャイム着席、正しい姿勢、発表の仕方や聞き方等の指導等の徹底 <p>・教員が互いの授業を見合うことによる、規律問題の自主改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが自らの力でいじめをなくそうという意欲を高めていけるように「回避」という言葉を「予防」に変更 表現をシンプルにし、「取り組み」を「取組」に統一 多岐にわたる教育活動を意味するために「多く」を「様々」に変更、整理の観点を具体的な表現に修正 内面理解の推進は、具体的な取組に表記するため前書きからは削除 観点、実践目標、実践内容の順となるように文言の整理 「■授業における学習規律の確立」と「■すべての児童生徒が参加・活躍できる「わかる授業」の実践」の記載順序を入れ替え 文言の修正 2項目を統合して1項目で記載 「等」の位置を修正 実践すべきことを明確化

改訂（2020年度版）	現行（2019年度版）	備考
<p>■「居場所づくり」を重視した学級活動、学年・学校行事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が安全で、安心して学校生活を送ることができると感じられるような一人一人にとって「心の居場所」のある学級や学年、学校づくり ・(次項へ移動) <p>・多様な考えを認め合える学級・学年づくり</p> <p>■「絆づくり」を育む学級活動、学年・学校行事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師による児童生徒主体の「絆づくり」ができるような「場」や「機会」の創出 <p>・児童生徒自らが主体的に取り組む協働的な活動を通して、互いのことを認め合い、心のつながりを感じることができるような教育の実践</p> <p>■「自己有用感」を育む学級活動、学年・学校行事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態に即したピア・サポートの推進 <p>P 2 実践目標 2 命や人権を尊重する態度、豊かな心の育成</p> <p>■人権教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の中から、児童生徒と共に人権を考える実践取組の充実 ・人権月間（週間）における啓発ポスター等の活用 <p>■道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書等を利用し、発達段階に応じた教材によるいじめ防止の学習 	<p>■「居場所づくり」を重視した学級活動、学年・学校行事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が安全・安心に学校生活を送ることができると感じられるような一人一人にとって「居場所」のある学級や学年、学校づくり ・教師が、児童生徒主体の「絆づくり」ができるような「場」や「機会」を準備した学級や学年の経営 ・間違った答えを言っても笑われたり叱られたりしない学級・学年づくり <p>■「絆づくり」を育む学級活動、学年・学校行事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(前項から移動) <p>・児童生徒自らが主体的に取り組む活動の中で、互いのことを認め合い、心のつながりを感じることができるような教育活動の実践</p> <p>■「自己有用感」を育む学級活動、学年・学校行事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前指導（トレーニング）、事後指導を重視したピア・サポートの推進 <p>P 2 実践目標 2 命や人権を尊重し、豊かな心を育てる</p> <p>■人権教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒と共に学校での日常生活の中から人権を考える実践 ・人権月間（週間）における啓発ポスターの活用 <p>■道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の利用や心根が揺さぶられる教材によるいじめ抑止の学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・文言の修正 ・心理的な側面も踏まえ「心の居場所」と表現 ・「居場所づくり」の項から「絆づくり」の項へ一部文言を修正して移動 ・個別的な表現を包括的な表現に修正 ・一部文言を修正し、前項から移動 ・居場所づくりという観点に即し「協同的」という言葉を追加「教育活動の実践」は、以下すべて「教育の実践」に修正 ・個別的な表現を包括的な表現に修正 ・修正後の5か年計画の文言と統一 ・表現の修正 ・「等」を追記 ・教材については包括的な表現に変更し、押さえつけることという意味合いの「抑止」を未然防止の観点から「防止」に修正

改訂（2020年度版）	現行（2019年度版）	備考
<p>P 2 <u>実践目標 3</u></p> <p>■いじめ防止啓発月間の取組 ・“いじめ防止<u>市民</u>フォーラム”への参加</p> <p>■いじめ防止、子どものSOS発見<u>チェックリスト</u>等の啓発チラシ ・啓発チラシ「<u>子どもと話そう子ども</u>の話を聴こう」の活用（4月）</p> <p>・（上記に統合）</p> <p>・啓発チラシ「いじめをしない、させない、<u>見逃さない</u>」の活用（7月）</p> <p>2 早期発見・早期対応への取組 <u>実践目標 1</u></p> <p>■「<u>学校生活に関するアンケート</u>」の実施 ・（削除）</p> <p>・結果をもとにした<u>検討会や個別ケース会議の実施</u></p> <p>■要支援領域の児童生徒への支援策の実施 ・検討会を受けた組織的な支援策の実施及び経過・結果の<u>教職員間での情報共有</u></p> <p>・要支援領域の児童生徒の<u>状況</u>について市教委と情報共有</p> <p>P 3 <u>実践目標 2</u></p> <p>■<u>教育相談コーディネーターを中心とした相談体制</u> ・「心の相談アンケート」の<u>結果集約と市教委との情報共有</u></p>	<p>P 2 <u>実践目標 3</u></p> <p>■いじめ防止啓発月間の取組 ・“いじめ防止フォーラム”への参加</p> <p>■いじめ防止、子どものSOS発見等の啓発チラシ ・チラシ「<u>子どもはいつも問いかけています</u>」の活用（4月）</p> <p>・「<u>子どものサイン発見チェックリスト</u>」の活用（4月）</p> <p>・チラシ「いじめをしない、させない、<u>ゆるさない</u>」の活用（6月）</p> <p>2 早期発見・早期対応への取組 <u>実践目標 1</u></p> <p>■「<u>学校生活に関するアンケート</u>」の実施 ・<u>担任による速やかな入力と、担当者によるデータ処理・印刷</u></p> <p>・（次項目と統合）</p> <p>■要支援領域の児童生徒への支援策の実施 ・検討会を受けた組織的な支援策の実施及び経過・結果の<u>情報共有</u></p> <p>・要支援領域の児童生徒の<u>対応</u>について市教委へ報告</p> <p>P 3 <u>実践目標 2</u></p> <p>■<u>教育相談コーディネーターの設置</u> ・「心の相談アンケート」の<u>集計と市教委への報告</u></p>	<p>・文言の修正</p> <p>・文言の修正</p> <p>・2020年度版啓発チラシに修正</p> <p>・上記2020年度版啓発チラシに統合するため項目としては削除</p> <p>・キャッチコピーと配布時期の変更</p> <p>・対応の仕方については、一律に指定する必要がないため</p> <p>・■アンケート実施後の校内検討会の実施の項目と統合</p> <p>・情報教育の範囲を明記</p> <p>・実際の状況に合致させて記載</p> <p>・相談体制をより充実させていくために文言の修正</p> <p>・文言の修正</p>

改訂（2020年度版）	現行（2019年度版）	備考
<p>■「心の相談アンケート」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>記述方式によるアンケートの実施後、教育相談を実施</u> <p>・（削除）</p> <p>・（削除）</p> <p>・<u>結果をもとにした検討会や個別のケース会議の実施</u></p> <p>■教育相談の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>なお、2回目以降は、学校の実情に応じて柔軟に対応する</u> <p>・（削除）</p> <p>・<u>カウンセリングマインドによる教育相談について共通理解を図る</u></p> <p>■子ども向け相談行動促進（自殺予防教育）リーフレットの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>小学校5年生～中学校3年生までの全児童生徒に配付・活用</u> <p>・<u>リーフレットを活用した児童生徒のSOSの出し方等に関する教育の実施</u></p> <p>■相談室等の環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>児童生徒が一時的に安心して過ごせる環境づくり</u> <p>P 3 実践目標 3</p> <p>■担任と子ども、保護者の連絡を密にした支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>温かなコミュニケーションによる信頼関係の構築</u> 	<p>■「心の相談アンケート」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>相談することを目的とした記述方式によるアンケートの実施することで、いじめ等の早期発見と、いじめ抑止の機会とする</u> <p>・<u>実施後、担任は速やかに内容を確認、必要に応じて対応</u></p> <p>・<u>実施後、できるだけ早い時期に学年の検討会等での情報共有を図る</u></p> <p>・（追記）</p> <p>■教育相談の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（追記） <p>・<u>教育相談コーディネーターによる教育相談方針の決定と共通理解を図る</u></p> <p>・<u>カウンセリングマインドによる教育相談の実施と情報共有</u></p> <p>■子ども向け相談行動促進（自殺予防教育）リーフレットの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>小学校4年生～中学校3年生までの全児童生徒に配付・活用</u> <p>・<u>リーフレットの活用により、悩んだ時に一人で抱え込むのではなく、子ども自らの相談行動に結びつけるようにする</u></p> <p>■相談室等の環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>児童生徒が一次的に安心して過ごせる環境づくり</u> <p>P 3 実践目標 3</p> <p>■担任と子ども、保護者の連絡を密にした支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>コメントのやりとりによる信頼関係の構築</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・以下3項目の記述内容を精査し、新たに2項目で表記 <ul style="list-style-type: none"> ・学校の実情に応じて実施できるよう明記 <ul style="list-style-type: none"> ・対応の仕方については一律に指定する必要がないため <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談の質の向上を図ることを目的とした表記に変更 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度の実践の振り返りから対象範囲を再考し、5年生から実施 <ul style="list-style-type: none"> ・教育内容の表記となっていたものを教育の目的の表記に変更 <ul style="list-style-type: none"> ・誤字の修正 <ul style="list-style-type: none"> ・表現の修正

改訂（2020年度版）	現行（2019年度版）	備考
<p>■<u>ユニット12を活用した保幼小中連携の充実</u></p> <p>■（移動）</p> <p>・（移動）</p> <p>P4 実践目標4</p> <p>■いじめに関する研修</p> <p>■<u>アセスの運用・活用に関する研修及び学校生活適応推進研修</u></p> <p>・アセスの理論研修</p> <p>・アセスの組織的な運用研修</p> <p>・アセスの活用に係る校内研修</p> <p>・アセスを活かすためのテーマ別研修 ピア・サポート、協働学習、SEL（社会性と情動の学習）、 カウンセリングマインド、ソーシャルスキルトレーニング等</p> <p>■（上記項目に再編）</p> <p>■（上記項目に再編）</p> <p>■<u>学級経営に関する研修</u></p> <p>・<u>教育相談スキルに関する研修</u> コーチングスキル、アサーショントレーニング等</p> <p>■<u>不登校対策に関する研修</u></p> <p>・<u>不登校児童生徒への対応の在り方等に関する研修</u></p>	<p>■（追記）</p> <p>■<u>保護者による子どものSOSのサインチェック</u></p> <p>・<u>「子どものサイン発見チェックリスト」の活用</u></p> <p>P4 実践目標4</p> <p>■<u>いじめに関する研修の実施</u></p> <p>■<u>児童生徒のコミュニケーション能力を高めるための研修</u></p> <p>・ピア・サポート研修、協同学習研修（希望研修）</p> <p>・SEL（社会性と情動の学習）研修（希望研修）</p> <p>・<u>カウンセリングマインド研修（希望研修）</u></p> <p>・<u>ソーシャルスキルトレーニング研修等（希望研修）</u></p> <p>■<u>アセスの運用・活用に関する研修</u></p> <p>・<u>アセスの組織的な運用研修（対象：教頭、アセス推進担当教員）</u></p> <p>・<u>アセスの活用に係る校内研修（要請研修）</u></p> <p>■<u>学校生活適応推進研修会</u></p> <p>・<u>アセスの理論研修（対象：学校長、アセス推進担当教員）</u></p> <p>・<u>アセスを活かすためのテーマ別研修（希望研修）</u></p> <p>■（追記）</p> <p>・（追記）</p> <p>（追記）</p> <p>■<u>不登校対策に関する研修</u></p> <p>・<u>不登校対策推進委員を対象とした研修</u></p>	<p>・自校生だけでなく、他校生とのつながりの中で発生するケースへの対応や幼稚園からの継続した支援を行うことを明確にするため</p> <p>・1未然防止への取組の実践目標3 家庭や地域への働きかけに移動</p> <p>・他の項目と表現を統一</p> <p>※研修内容を踏まえて項目を「■アセスの運用・活用に関する研修及び学校生活適応推進研修」へ再編</p> <p>・研修内容を踏まえて項目を「■アセスの運用・活用に関する研修及び学校生活適応推進研修」へ再編</p> <p>・研修内容を踏まえて項目を「■アセスの運用・活用に関する研修及び学校生活適応推進研修」へ再編</p> <p>・2020年度実施予定につき追記</p> <p>・同上</p> <p>・同上</p> <p>・他の項目と表記内容を統一</p>

改訂（2020年度版）	現行（2019年度版）	備考
<p>■子ども向け相談行動促進（自殺予防教育）に関する研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の自殺に関する理論的理解を図る研修 ・学校支援カウンセラーによる「T A L Kの原則」や「きょうしつ」理論の研修 <p>■「わかる授業」づくり及び生徒指導に関する研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(削除) ・(削除) ・協同的探究学習に関する研修 ・体罰の根絶等、生徒指導の在り方に関する研修 <p>■学校危機管理に関する研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校危機管理に関する研修 <p>P 4 実践目標 5 「チーム学校」の組織力の向上</p> <p>■いじめの積極的認知の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止対策推進法に基づく対応の徹底 <p>■スクールカウンセラーとの連携・協働</p> <p>■スクールソーシャルワーカーとの連携・協働</p> <p>■スクールアシスタントとの連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達の課題がある児童への支援 <p>■「ケース会議」の積極的な実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(削除) ・関係機関と連携した「ケース会議」の開催 	<p>■学校危機管理や自殺予防教育に関する研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の自殺に関する理論的理解を図る研修 ・学校支援カウンセラーによる「T A L Kの原則」や「きょうしつ」理論の研修 <p>■「わかる授業」づくり及び生徒指導に関する研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアに応じた経験者研修（希望研修） ・目的別選択制研修（希望研修） ・協同的探究学習に係る研修等（対象：研究推進担当） ・(追記) <p>■学校危機管理や自殺予防教育に関する研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校危機管理研修（対象：管理職及び主幹教諭） <p>P 4 実践目標 5 「チーム学校」による組織的な対応</p> <p>■いじめの積極的認知の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(追記) <p>■スクールカウンセラーの活用</p> <p>■スクールソーシャルワーカーの活用</p> <p>■(追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(追記) <p>■「ケース会議」の積極的な実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援カウンセラー等による校内研修の支援 ・(追記) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自殺予防教育」を分離し、「■子ども向け相談行動促進（自殺予防教育）に関する研修」に再編 ・研修内容が具体性に欠けるため削除 ・同上 ・文言の修正 ・生徒指導に関する研修についての記述がなかったため ・「自殺予防教育」を分離し、「■子ども向け相談行動促進（自殺予防教育）に関する研修」に再編 ・5か年計画の表記に統一 ・法に関する表記がなかったため ・「チーム学校」に応じた表現に修正 ・「チーム学校」に応じた表現に修正 ・同上 ・同上 ・「ケース会議」の実施に関する項目としては不相応なため現状に即した内容を追記

改訂（2020年度版）	現行（2019年度版）	備考
<p>P 5 <u>実践目標 6</u></p> <p>■アセスを活用した内面把握と早期発見、<u>早期対応</u></p> <p>■メンタルサポーターとの連携、家庭との信頼関係の構築 <u>・別室指導の充実</u></p> <p>■養護教諭との連携 <u>・保健室への来室状況の把握</u></p> <p>■<u>教育相談センターとの連携・協働</u> <u>・適応指導教室やアタック・ゴー、ピア・スペース活動の活用</u></p>	<p>P 5 <u>実践目標 6</u></p> <p>■アセスを活用した内面把握と早期対応、<u>別室指導の充実</u></p> <p>■メンタルサポーターとの連携、家庭との信頼関係の構築 <u>・(追記)</u></p> <p>■<u>保健室への来室状況の把握、養護教諭との連携</u> <u>・(追記)</u></p> <p>■<u>教育相談センターの適応指導教室やピア・スペース活動の活用</u> <u>・(追記)</u></p>	<p>・文言の修正</p> <p>・中項目(■)と小項目(・)に分割して表記</p> <p>・同上</p> <p>・同上</p>
<p>P 5 3 関係機関との連携を強化した取組</p> <p><u>実践項目 3</u> <u>・加古川警察署少年係</u> <u>・中央子ども家庭センター</u></p>	<p>P 5 3 関係機関との連携を強化した取組</p> <p><u>実践項目 3</u> <u>・(追記)</u> <u>・(追記)</u></p>	<p>・未記載であったため</p> <p>・同上</p>
<p><u>実践目標 4</u></p> <p>■ <u>(削除)</u></p>	<p><u>実践目標 4</u></p> <p>■ <u>「いじめ防止・対応マニュアル」の活用</u></p>	<p>・項目との関連性が低い</p>
<p>P 5 4 推進体制・検証体制を整える取組</p> <p><u>実践目標 3</u></p> <p>■ <u>重大事態への速やかな事実関係の確認と調査、市教委への相談と報告</u></p>	<p>P 5 4 推進体制・検証体制を整える取組</p> <p><u>実践目標 3</u></p> <p>■ <u>(追記)</u></p>	<p>・未記載であったため</p>
<p>P 6 <u>実践目標 5</u></p> <p>■ <u>学校評議員会や学校運営協議会による学校評価の実施</u></p>	<p>P 6 <u>実践目標 5</u></p> <p>■ <u>(追記)</u></p>	<p>・未記載であったため</p>

改訂（2020年度版）	現行（2019年度版）	備考
<p>チェックリスト</p> <p>P 1 <u>お互いを認め合える学校、学年、学級、部活動の風土をつくること</u>が、いじめの未然防止につながるということを、毎学期、教職員で共通理解しているか。</p> <p>児童生徒が互いに支え合う体験的な<u>活動</u>を意図的・計画的に設定しているか。</p> <p>P 3 <u>リーフレット</u>を活用した、発達段階に応じた自殺予防教育は行われているか。</p> <p>P 5 <u>情報モラル教室等を実施し、児童生徒の情報モラル教育を実施しているか</u></p>	<p>P 1 <u>いじめが起きにくい学校、学年、学級、部活動の風土をつくること</u>が、いじめの未然防止につながるということを、毎学期、教職員で共通理解しているか。</p> <p>児童生徒が互いに支え合う体験的な<u>場面</u>を意図的・計画的に設定しているか。</p> <p>P 3 <u>ハンドブック</u>を活用した、発達段階に応じた自殺予防教育は行われているか。</p> <p>P 5 <u>・（追記）</u></p>	<p>・内容の精査</p> <p>・文言の修正</p> <p>・実情に即して文言の変更</p> <p>・未記載であったため</p>